

平成24年度 前期選抜の選抜・評価方法（予定）

学校番号 19
千葉県立千葉西高等学校全日制の課程普通科

1 期待する生徒像

- | |
|---|
| (1) 基本的な生活習慣及び学習における基礎・基本が確実に身につけている生徒。 |
| (2) 学習活動・学校行事及び部活動等に意欲的に取り組む生徒。 |
| (3) 思いやりがあり、積極性・向上心に優れ、将来社会に貢献できる生徒。 |

2 選抜資料

(1) 学力検査	5教科の得点の合計により評価する。
(2) 調査書	評価項目の各評価を基にして数値等で評価する。
(3) 面接	グループ面接。面接委員3名で1グループあたり約10分。A～Cの3段階で評価。各段階を数値換算して評価する。
(4) 志願理由書	記載内容を総合的に評価する。

3 評価項目及び評価基準

(1) 学力検査

評価項目	評価基準
5教科の得点合計	5教科の得点の合計により500点満点で評価する。

(2) 調査書

評価項目	評価基準
ア 教科の学習の記録	全教科の評定の合計値を*算式1により求めた値で評価する。 評定1の教科がある場合は、審議の対象とする。
イ 出欠の記録	3か年欠席0日の場合は、3点を与える。 各学年において20日以上欠席がある場合は、審議の対象とする。
ウ 行動の記録	基本的な生活習慣の項目に○がある場合は、3点を与える。
エ 特別活動の記録 及び部活動等の記録	特別活動等の記録で、学級活動、生徒会活動、学校行事、部活動、その他を27点満点で評価する。
オ 総合所見	記載内容を総合的に評価する。

(3) 面接

評価項目	評価基準
ア 志望の動機	3名の面接委員がそれぞれA～Cの3段階で評価し、各段階を数値換算して10点満点で評価する。
イ 学習意欲等	
ウ 特別活動等	

(4) 志願理由書

評価項目	評価基準
志願理由書	記載内容を総合的に評価する。
自己アピール	記載内容を総合的に評価する。

4 選抜方法

(1) 選抜の方法

本校の「期待する生徒像」に基づき、「学力検査の成績」、「調査書」、「面接の評価」、「志願理由書」等を総合的に判定して入学者の選抜を行う。

ア 次の(ア)から(ウ)までの条件を兼ね備える受検者をA組とし、入学許可候補者として内定する。

(ア) *算式1で求めた数値で順位をつけたとき、次の①又は②に示すパーセント内にあること。

① 受検者数が予定人員以内のときは、受検者数の80パーセント

② 受検者数が予定人員を超えるときは、予定人員の80パーセント

(イ) 学力検査の得点合計によって順位をつけたとき、上記の(ア)の①又は②に示すパーセント以内にあること。

(ウ) ただし、下記の点に特に問題となる点がないこと。

① 学力検査の個々の得点

② 調査書の教科の学習の記録

③ 出欠の記録

④ 面接の評価

⑤ その他、調査書及び志願理由書等の記載内容

イ A組に属さない受検者をB組とし、「学力検査の成績」、「調査書の評価」、「面接の評価」の合計値より順位をつけ、総合的に判定して、入学許可候補者として内定する。

(2) その他

自己申告書が提出された場合には、選抜のための資料に加え、提出されたことにより、不利益な取り扱いをすることがないように十分に留意する。

*算式1について (平成24年度千葉県公立高等学校入学選抜実施要項より抜粋)

調査書の評定については、次の算式1で算出した数値を選抜の資料とする。

算式1 $X + \alpha - m$

算式1の符号

X…当該志願者の調査書中の国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、技術・家庭及び外国語の評定の全学年の合計値

α …県が定める評定合計の標準値(95とする。)

m…当該志願者の在籍する中学校の第3学年に在籍する生徒の調査書中の国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、技術・家庭及び外国語の評定の全学年の合計値の平均値
ただし、県内公立中学校に在籍していない志願者及び過年度卒業者のmの値は95とする。